南伊豆から笑顔をお届け
月刊 みなみかみしんぶん
南上新聞
平成24年 皐月 5月

南伊豆から世界に発信する 南上新聞

南上にベンチを設置

南伊豆湯けむりの会

NPO法人南伊豆湯けむりの会が南上の各所に木製ベンチを設置。蛇石の碧雲寺、平戸の公民館、川合野のリサイクルステーション、下小野のバス停など、南上の9つの各集落にベンチが寄贈され、地域の憩いの場が増えました。これは社団法人国土緑化推進機構の緑の募金の助成金を利用した事業の一環で、青野の区有林で間伐された杉や檜が有効活用されています。半割した丸太を座面にし、脚となる重ねた小径の木をボルトで固定。耐久性を高めるために施された焼きが木目模様を引き立て、味わいのある機能美になっています。杉や檜などの植林木は活用されたこそ生きるもの。植えられたまま何十年も経過してしまうと、山を荒らす一因になってしまいます。適度に伐採し、木材として利用されることで、山が活性化され、地域も活性化されるといういい循環が作られていくのです。

衝撃 ヤギ牧場にカバ出現?!

上小野口バス停付近の動物ふれあい広場に、この地域には生息しない珍獣が仲間入りしました。ここは耕作放棄地対策として営まれるヤギ牧場に併設された広場。木彫りの動物が置かれ、地域のこども達の遊び場としても人気を博しているスポットです。キリンやブタ、イノシシといった木彫りに加え、この度カバが新しく設置されました。この広場はどなたでも出入り自由。噛まれる心配もないのでご安心ください。

市之瀬に新婚さん誕生

下田市出身の鈴木宏典さんと市之瀬で生まれ育った奈緒香（旧姓菊池）さん。旧下田南高校で出会い、7年の愛をはぐくみ今年の3月12日にめでたくご結婚されました。血筋なのでしょうか、お互いの両親の馴れ初めも高校というから驚きです。市之瀬で新婦家族との新生活をスタートさせて約2ヵ月。「市之瀬のお年寄りはみなさん元気で若々しい」と新郎宏典さん。野菜作りにも興味があり、まずは仕事の傍らプランター栽培に挑戦しています。

藤江 鈑金塗装
南伊豆町青市941-1 代表 藤江貴一 0558-62-2756
B.P Fujie

木のことなら何でもおまかせ
山を生かし 地域を活かす
株式会社いしし林業
合法木材供給事業者　県知事認定林業事業体
南伊豆町毛倉野 0558-62-0093

KTV 13ch
皆さまと共に歩む 小林テレビ
下田市1-2-23 ☎0558-22-5232

南上新聞　5月号／2012年5月15日発行（毎月15日発行）第2号
題字 西辻泉一　デザイン：上屋敷デザイン・my@kamiyashiki.com　編集・発行：山之内伸仁（ふじのくに暮らし推進隊）静岡県賀茂郡南伊豆町下小野430-1・info@kamiyashiki.com・080-2161-1940

川合野 平井塚（万宝大屋）

蔵し

kurashi

写真／岩間史朗

蔵のある暮らし

「昔使ってたオモチャもしまってあるの」と2年生になったばかりの満菜美ちゃん。5世の祖が大正末期に松崎の職人に依頼して建造した蔵で、意匠や材質と並び、蔵の価値と称される基礎の地固めに大幅な人工をかけている。昨年、他界するまでこの蔵を大切に使ってきた曾祖母も地固めの強さを自慢にしてきただけあり、構造に歪みやひび割れなどはない。内部にも痛みは少なく、いつでも現役復帰できる状態。「理恵ちゃん（妹）が大きくなったら、秘密基地にしていっしょに遊ぶの」と楽しげに語る。そんな次世代の小さな主のために、平井夫妻は蔵の中の片付けを始めるという。家財道具をしまうばかりが蔵の役目ではないようだ。使われてこそ生きる蔵。その使われかたは多種多様。

2012 MAY 5 vol.02